

# 裁判所事務官・裁判所書記官 仕事体験



令和4年11月18日(金)、金沢地方・家庭裁判所で裁判所事務官・裁判所書記官 仕事体験を開催し、18名の方に参加していただきました。当日の様子をプログラムに沿って紹介します。



## ★Program★

- ・13:30～ 開催の挨拶
- ・13:35～ 導入レクチャー  
職場見学／事務官仕事体験  
公判期日までの準備について
- ・14:25～ 実施前レクチャー
- ・14:35～ 模擬公判
- ・15:30～ 書記官仕事体験
- ・16:00～ 質疑応答



### 職場見学／事務官仕事体験 公判期日までの準備について

裁判所事務官と裁判所書記官の仕事内容、刑事訟廷事務室と刑事部立会係について、それぞれ説明をした上で、2班に分かれ、職場見学と事務官仕事体験を交互に行いました。職場見学では、刑事部の職員が働いている様子を見ていただきました。

事務官仕事体験では、送達準備の体験をしていただきました。皆さん、職員の説明を聞きながら、真剣に取り組んでいました。

その後、公判期日の前にどのような準備や仕事があるのか、刑事部の裁判官と書記官が模擬記録に基づきながら具体的に話し、打合せの様子も見ていただきました。法廷以外での裁判官や書記官の仕事を理解いただけたのではないかと思います。



### 実施前レクチャー 模擬公判



法廷や刑事裁判の流れ等について説明した後、職員による模擬公判を傍聴していただきました。現在刑事部で働いている職員が、裁判官や弁護士、書記官を演じたので、実際の法廷に近い雰囲気を感じていただけたのではないかと思います。

この模擬公判における被告人質問の調書を作成することが、次の書記官仕事体験の内容だったので、皆さん考えながら真剣にメモを取っていました。



## 裁判所書記官仕事体験



模擬公判での被告人質問の際にとつたメモをもとに、被告人質問調書の作成体験をしていただきました。

穴埋めの書式に記載していただきましたが、メモを手に、悩んでいる人、たくさん書いている人等、それぞれでした。

現役で働く書記官でも、調書の作成には悩むことがあります。

書記官の仕事の難しさを感じつつもやりがいや責任を感じていただけたのではないかと思います。

## 質疑応答等

最後は現在刑事部で働いている裁判官、書記官、事務官が登場し、参加者の皆さんの質問に答えました。

- ・事務官の仕事のやりがい？
- ・事務官・書記官を目指すきっかけ？
- ・要旨調書作成のポイント？
- ・1日のスケジュールは？

などといったまじめな質問から

- ・飲み会はあるの？

などといったフランクな質問まで出ました。

参加者の皆さんには、最初こそ緊張した雰囲気を感じられましたが、質問が進むにつれて和やかな雰囲気になりました。



## 参加者の感想

- ・裁判所はとても堅いイメージがあったが、和やかな雰囲気を感じた。イメージが変わった。
- ・事務官・書記官は、縁の下の力持ちのような存在だと思った。
- ・裁判所＝裁判官というイメージが強かったが、裁判官を支え、スムーズな裁判を行えるようにサポートするという重要な仕事を書記官・事務官が担っているというのを理解できた。とてもやりがいのある仕事で、かっこいいと思った。この仕事体験をとおして、ますます裁判所で働くということの魅力を感じ、興味が湧いた。
- ・実際に体験することで、どんな仕事をしているのかよく分かった。裁判を進めていくうえで書記官がとても重要な存在であることがわかり、書記官になってみたいと感じた。
- ・質問会をとおして、チームとして働くことの大切さを教えていただき、裁判官のイメージが変わって楽しかった。傍聴にも行ってみたいとなった。

参加者の皆様、お疲れ様でした！

